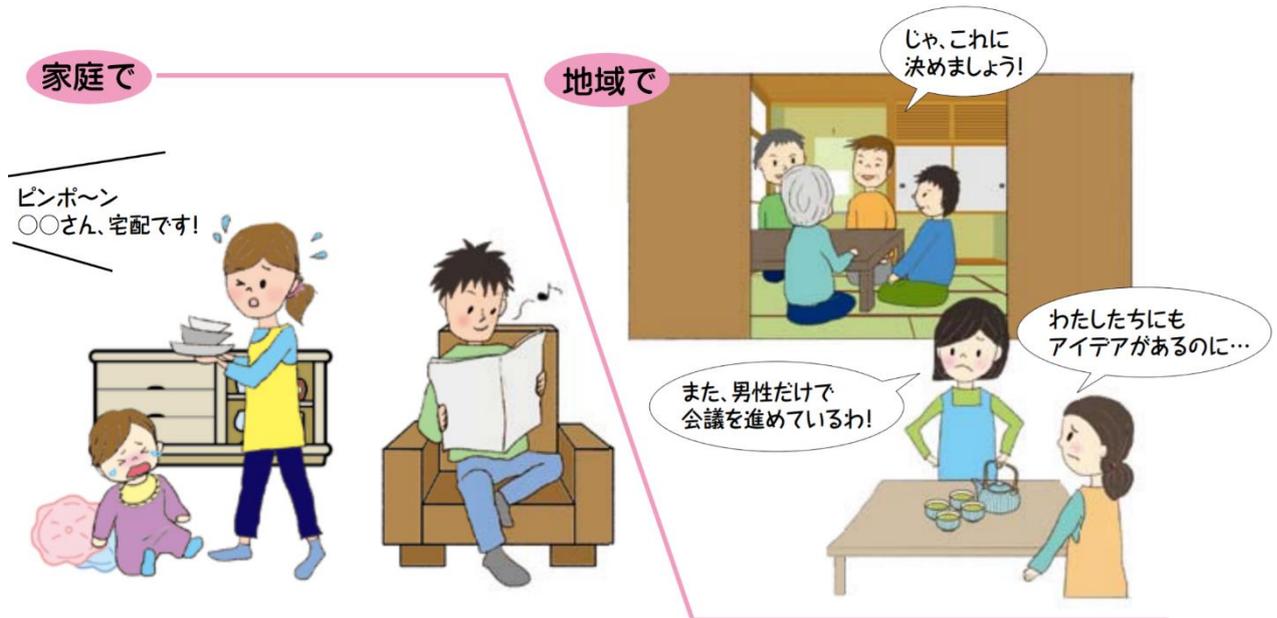


家庭や地域でも生き生きと自分らしく！



ワークⅠ
どう思いますか？

- 左上のイラストはある共働き家庭での様子です。右上のイラストはある自治会での様子です。あなたはこれらのイラストを見てどう思いますか？

ワークⅡ
考えてみましょう！

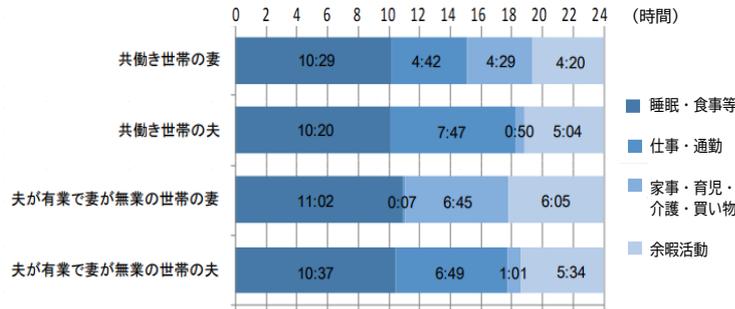
- 家庭や地域で役割分担を考えると、「男だから」「女だから」という理由で決まっているものはありますか？

ワークⅢ
語り合えよう
できること！

- 家庭や地域において男女が互いに協力し、それぞれの個性や能力を発揮するためにはどうしたらよいでしょうか？これまでできていること、さらにこれからできることは何だと思いますか？

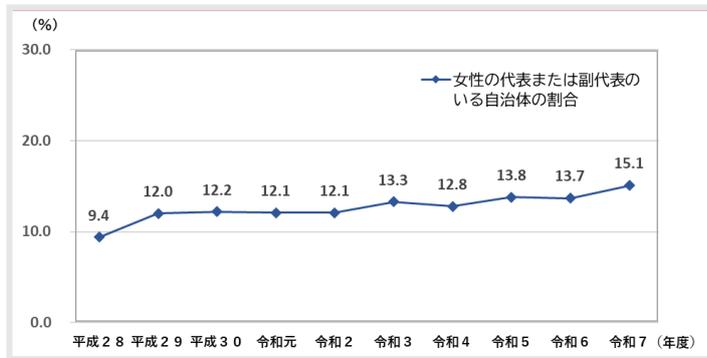
あなたの家庭、地域での役割分担はどうですか？

資料① ● 夫婦の生活時間（1日に占める時間数：週全体）（滋賀県）



資料：「令和3年社会生活基本調査」（総務省）をもとに作成
備考：端数処理の関係上、構成比の合計が24時間にならない場合があります。

資料② ● 女性の代表者または副代表者のいる自治会比率の推移（滋賀県）



資料：「市町における男女共同参画推進状況」（滋賀県女性活躍推進課）より

◎家事・子育て・介護は協力して行いましょう

掃除や洗濯、食事の準備や片づけ、そして子育てや介護について、女性が担っている時間が男性よりも長い状況です。

自分やパートナーが安らげる楽しい家庭であるためには、家族で協力し合える関係であることが大切です。

◎男女が協力し責任をもって地域づくりに関わりましょう

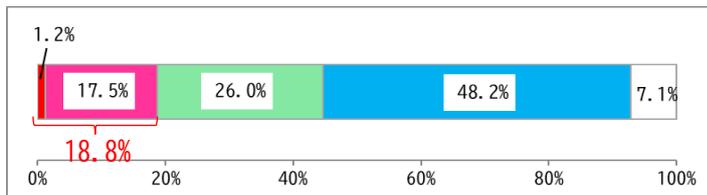
これまでの慣習などによって「地域の活動におけるリーダーや決定権は男性に」と考える人が多く、自治会の女性リーダーは15%程度という現状です。しかし、女性も男性も地域を構成する一員です。

それぞれが責任をもって地域の活動に関わりましょう。

「男だから、女だから」と決めつけていませんか？

資料③ ● 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について（滋賀県）

■ 同感する ■ どちらかといえば同感する方である ■ どちらかといえば同感しない方である ■ 同感しない □ わからない



資料：令和6年度男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査（滋賀県）
備考：四捨五入の関係上、各選択肢の百分率 (%) の合計が100%にならない場合があります。

滋賀県では、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方に同感する人（「どちらかといえば同感する方である」を含む。）の割合は、約2割です。

あなたの意識は、どうですか？



固定的な性別役割分担意識ってなんだろ？

語り合いましょう！



うまくいっていることも出し合ってみよう！

一步、行動に移してみませんか？

あなたの家庭は？

あなたの地域は？

なぜ男性の育児参画が進まないの？

家事や育児、介護は誰の役割？

役員などの男女比は？

男だから代表？

災害時の備えは？
避難所の設置などで男女にどんなニーズの違いがあるの？

地域の行事などの役割分担は？

女だから炊き出し？
料理の得意な男性もいるよね

大切なのは、一人ひとりがその個性や能力に応じて力を発揮し、男女が共に生き生きと暮らせる家庭や地域をつくることです。

1 女性

1. 目的

滋賀県が実施した男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査によると、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」といった男女の役割を固定的に捉える意識が依然として残っています。そのことが、男性・女性のそれぞれが主体的に生きるための多様な選択や能力発揮の妨げになっていることがあります。

ここでは固定的な性別役割分担意識※について考え、語り合いを通して男女が共に生き生きと活躍できる地域づくりにつなげましょう。

※「固定的な性別役割分担意識」とは、男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性・女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。

2. 進め方（ワークシート活用例）

ワーク

進め方とファシリテーターの視点

I

- 1 イラストを見て、参加者の率直な意見を聞いてみましょう。
- 2 資料①、②を参考にして、男女の家庭や地域の様子について考えてみましょう。

《視点1》 家庭においては、男女の家事・育児等の時間の違い（資料①）に注目します。共働きでもそうでなくても、家事・育児などの多くを女性が担っている状況から、「家事や育児は女性がするもの」という考えが根底にないか話し合います。

《視点2》 滋賀県では、自治会の女性の代表者は15%程度です。（資料②）このことから、「代表は男性がするもの」という考えがないかを考えます。

II

- 1 家庭や地域で「男だから」「女だから」という理由で決まっていることはないか、出し合ひましょう。
- 2 資料③を参考にしてその理由について考えてみましょう。

《視点3》 滋賀県では、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方に同感する割合が18.8%あります。家庭や地域で、固定的な性別役割分担意識にとらわれている様々な事例を出し合ひ、その理由について考えます。

III

- 男女が互いに協力し、それぞれの個性や能力を発揮するためには、どのようなことが大切かを話し合ひましょう。

《視点4》 家庭や地域でできることについては、「語り合ひましょう！」を参考に話し合ひます。

《視点5》 地域で防災マップや避難所運営などのマニュアルがある場合は事前に用意し、女性の視点がいかにされているか確認してもよいでしょう。

3. より深く学ぶために（滋賀県女性活躍推進課 資料）

「男女共同参画啓発シート」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/danjyosankaku/11599.html>

「男女共同参画視点からの避難所運営手引」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/zyokatsu/346223.html>

滋賀県で避難所運営を、男女共同参画の視点から推進するために作成しました。

